

14. プライバシー

はじめに

①プライバシーについて
・
プライバシーの具体例

②個人情報漏洩
・
漏洩によって
起こるリスク

③まとめ

プライバシーとは

- プライバシーとは、一般に“他人の干渉を許さない、各個人の私生活上の自由”
- 言い換えると自分が他人に知られたくない情報のこと。



プライバシー情報

- 顔写真（個人が特定できるもの）
- 住所（番地、部屋番号まで）
- 犯罪歴（前科）
- 指紋データ
- 運転免許所番号やマイナンバー



プライバシー侵害の例

- 無断で他人の個人情報を公開（住所・電話番号など）
- 「Aは前科がある」や「Bは多額の借金をしている」
（など人には知られたくないことを言いふらす）

プライバシーの侵害に！！

身近に起こるプライバシー漏洩

- ①アンケート
- ②掲示板・チャット・メーリングリスト
- ③ホームページ

①アンケート

- 住所、年齢、趣味などの顧客情報を入手して販売戦略を立てるのに利用。
- 顧客情報、特に特定の目的のために整理された顧客リストは結構な値段で売れる。
 - 入手した情報を他社に売る。
 - プライバシーを入手する目的で集める。

②掲示板・チャット・メーリングリスト

- 同じ仲間との会話ができて楽しい。
- 親近感が湧き、自身のプライバシーに関わることを話す。

→誰が見ているかわからない。

誰でも情報や名前を偽ることができる。

③ ホームページ

- 何気ない日常のことを書いた日記。

→ インターネットでは世界中の数億という人数が見る機会がある。
自分でプライバシーを漏洩というより、公表している。

プライバシーポリシーとは

- 個人情報について、その収集や活用、管理、保護などに関する取り扱いの方針を明文化したもの。
- 個人情報を収集するサイトの場合は、プライバシーポリシーの制定と明記が必要。



プライバシーマーク



個人情報保護マーク

個人情報漏洩

- 「個人情報を保有する者」および「個人情報に該当する者」の意図に反して、第三者による「故意」または「過失」によって個人情報が渡ること。
- 良心的なサイトでも、個人情報を内部の者が不正に持ち出す。
- 外部から不正アクセスにより盗み出す。

不審に思うような項目があれば入力するべきではない

個人情報漏洩事件の例

1. ベネッセコーポレーション
→従業員による悪意のある社外持ち出し
2. セブンペイ
→企業アカウントに対する不正アクセス
3. アークレイ
→従業員によるデータの不正持ち出し

個人情報漏洩によって起こること

- 企業イメージの低下

→イメージ低下することで顧客離れなど売上減少。
情報漏洩がきっかけで大規模事業の撤退。

- 罰金などの処分

→個人情報の数が、過去6ヶ月において5000件を超える企業は、個人情報取扱事業者とされ個人情報保護法の適用対象。

- 損害賠償

→損害賠償の金額は、顧客1人あたり数千円から数万円程度が相場額。

まとめ

- 自分が知られたくないと思った内容はすべてプライバシーであり、他人が勝手に判断することではない。
- 思いがけないことで自分や他人のプライバシーを漏洩・侵害している。
- 他人のことを掲げる場合は、本人の許可を得る。
- 他人が自分の情報を掲げることに承諾した場合、それによる結果は自己責任。

参考文献

プライバシー侵害とは | プライバシー侵害の基準・事例・対処法

<https://atomfirm.com/sakujo/39840#1-2>

情報漏洩の事例 3 選から学ぶ企業が取るべき事前、事後対応

<https://legalsearch.jp/portal/column/learn-from-3-cases-of-information-leakage/>

ご清聴ありがとうございました。

